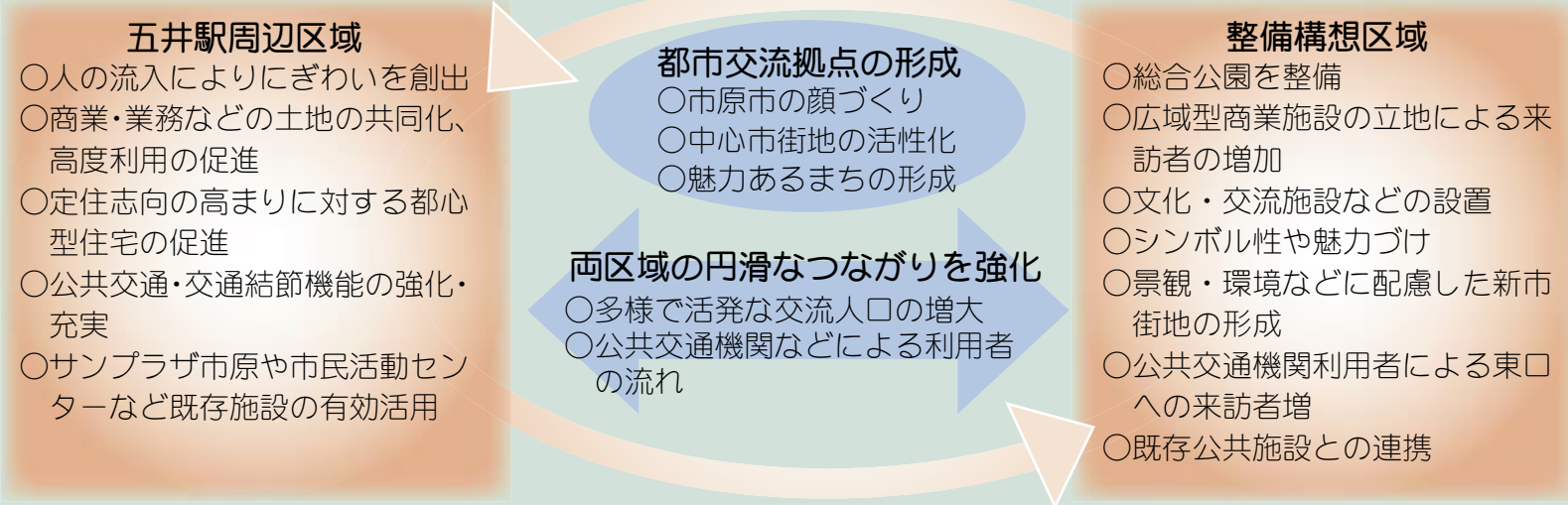


### 五井駅周辺区域と整備構想区域の連携による都市交流拠点の形成



### 総合公園

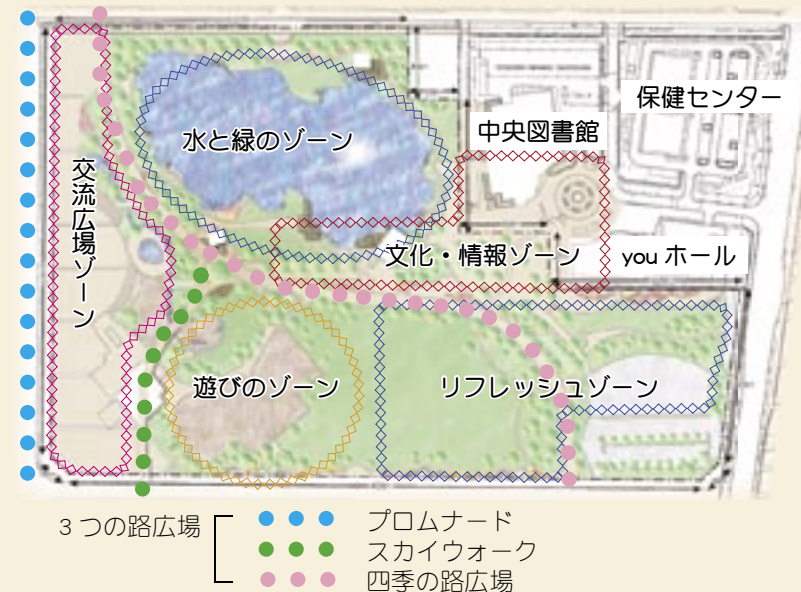
総合公園は、五井駅周辺区域と整備構想区域内の広域立地型商業施設エリアの間をにぎわいでつなぐ機能と、既存の公共施設の防災機能と一体的な防災拠点としての機能を担う公園として整備し、5つのゾーンと3つの路広場により構成します。

#### 取り組み状況

昨年8月に公園整備の基本的な考え方となる『市原市総合公園基本構想』を策定し、提示した整備の考え方について10月に市民意見聴取(第1回)を行いました。この結果を受け、現在、総合公園基本計画の策定を行っており、今年3月に公園のイメージ図案を公表し、内容について市民意見聴取(第2回)を行ったところです。これらの結果をもとに、5月末には総合公園基本計画(案)をまとめていきます。

また、総合公園基本計画(案)については、改めて皆さんの意見を伺う予定です。

#### 総合公園イメージ図案



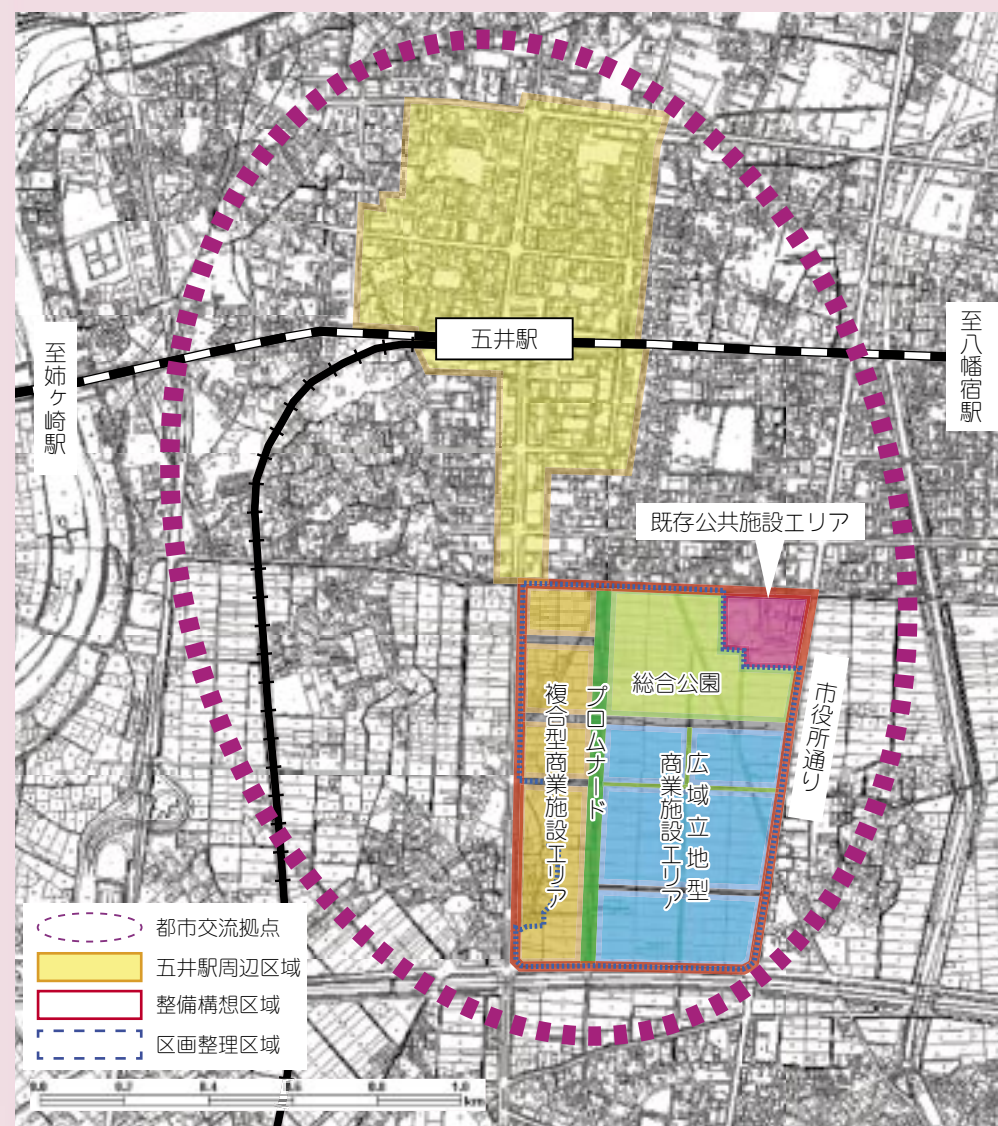
#### 5つのゾーン

**交流広場ゾーン** プロムナードと一体的な利用ができるよう多様なイベントに対応できる空間。  
**水と緑のゾーン** 広大な修景池の水景を活用した水と緑があふれる空間(調整池の機能も持つ)。  
**文化・情報ゾーン** 公園と既存公共施設との一体的な利用ができる空間。  
**リフレッシュゾーン** 広域立地型商業施設とyouホールをつなぐ健康的なくつろぎ空間。  
**遊びのゾーン** 適度な地形の変化や遊具のある広場など多様な空間構成の活動的な空間。

#### 3つの路広場

**プロムナード** 右下記事を参照  
**スカイウォーク** 公園内の立体空間で、広域立地型商業施設にも行ける空中通路。  
**四季の路広場** 並木のある主園路。桜や紅葉をテーマにしたお祭りも開催できる園路。

### 都市交流拠点 (五井駅周辺区域と整備構想区域)



市では、市原市の玄関口にふさわしい拠点づくりを進めるため、五井駅周辺区域から整備構想区域(左図参照)を一体的な『都市交流拠点』と位置づけ、市原市の中心拠点として魅力があり、誇りの持てるまちづくりを進めています。

**都市交流拠点について**

市の顔づくりを進めたいため、『改訂市原市総合計画』では、五井駅周辺から市役所周辺までの一帯を『都市交流核』と位置づけました。

さらに、市では、『都市交流核』でまちづくりを実効性のあるものとしていくために、平成17年12月に『市原市都市交流拠点整備基本計画』を策定し、市の顔づくりを戦略的に進める拠点として、『都市交流拠点』を位置づけました。

『都市交流拠点』は、『交流核』を基本目標として、五井駅周辺区域と整備構想区域のそれぞれの特性を活かし、多様な人々が訪れ、交流する場として位置づけました。また、将来にわたって『交流核』が持続し、魅力や暮らしやすさが感じられるまちとしていくために、次の四点を掲げました。

#### まちづくりの基本方針

● 求心力を高める新たな拠点 商業・業務と交流の機能を集積させ、市の玄関口として、市内だ

けでなく周辺都市に対しても情報・交流の発信力と求心力のある拠点としていきます。

● 市全体の活性化へ貢献 公共施設や商業施設など都市機能の集積と利便性の向上を図ります。まちの魅力を上向きさせることで交流人口の増加、モノや情報の流れを活発化させ、市全体の活性化につなげていきます。

● 新たな顔づくり 市民の市原市に対する愛着度は高いものの、自然環境を除けば、市として誇れるものや特色あるものがないと考えられているのが現状です(平成16年度市民意識調査)。

そのため、市原市を代表する新たなシンボルとして都市交流拠点をつくることにより、市民全体が共有できる誇りを育てていきます。

● 都市間競争への戦略拠点 周辺都市との都市間競争は今後さらに拍車がかかるものと予想されます。商業・業務と交流の機能を高めることに加え、環境や景観に配慮した人にやさしい快適なまちづくりを進めるなど、都市の魅力を総合的に向上させることにより、市原市のポテンシャルを高めていきます。

### 交流とにぎわいのある都市交流拠点づくり

# ともに輝く 元気なふるさと いちはら



### 整備構想区域のまちづくり

#### まちづくりの概要

目標Ⅱ『水と緑にあふれ、人・モノ・情報・文化が交流する、賑わいのある拠点づくり』

中央図書館やyouホールなどの既存施設と一体的に、緑やオープンスペースにあふれた安らぎや癒しを感じるまち、新たな発見や感動に出会える非日常的な時間と空間のまちを創造していきます。

なお、区域内の施設については、平成22年度からの順次オープンを目指しています。

#### 主な土地利用計画

**総合公園** 左上記事参照  
**広域立地型商業施設エリア** 非日常性を演出し、市内のみならず周辺都市を含めた広域的な集客を可能とする滞在型・時間消費型の商業施設としていきます。

なお、進出事業者については、市民や市とともに都市交流拠点のまちづくりに取り組むパートナー企業として、平成17年3月に公募を行い、書類審査やプレゼンテーションなどの審査を経て、(株)イトーヨーカ堂と(株)カインズの2社が選定されています。

#### 取り組み状況

整備構想区域は、今年3月に市街化区域へ編入されました。これを受け、現在、土地区画整理組合の設立認可に向けた手続きが進められています。

また、まちづくりの専門家をはじめ、商工関係者、土地区画整理組合設立準備委員会、パートナー企業、行政の参画による『市原市都市交流拠点整備推進協議会』を設置し、これまで十四回の会議開催を通して、魅力あるまちづくりの検討を進めています。

### 五井駅周辺区域のまちづくり

#### まちづくりの概要

目標Ⅱ『楽しさと賑わいが交差する市民生活のステージづくり』

これまでの中心市街地としての歴史・伝統・コミュニティなどの既存の資産を活かすとともに、整備構想区域の整備により生まれる新たなにぎわいを効果的に受け止め、『交流核』が循環するまちづくりを目指していきます。

#### 取り組み状況

市では、『中心市街地における市街地の整備改善及び商業等の活性化の一体的推進に関する法律』に基づき、平成15年4月に、五井駅周辺区域を対象として『市原市中心市街地活性化基本計画』を策定しました。

これまで、チャレンジショップやイルミネーションによる夜景の演出をはじめ、こじやれ通りや市民活動センターの整備とあわせ、いちばらビジネスセンターやタウン情報誌による情報発信など、にぎわ

る組合施行での土地区画整理事業により行われます。市では、区域内に位置づけられる総合公園を整備します。

また、市民や企業、行政などが手を取り合って、魅力が成長していくまちづくりを進めていきます。

なお、区域内の施設については、平成22年度からの順次オープンを目指しています。

### 詳しく知りたいときは

都市交流拠点整備基本計画や総合公園基本構想、都市交流拠点整備推進協議会の議事録など市ウェブサイト(URLは1面上段参照)でも見ることができます。

**問合先** 都市交流拠点整備に関すること＝都市交流核推進室 ☎ 9762、土地区画整理事業に関すること＝都市整備課 ☎ 9828、都市計画に関すること＝都市計画課 ☎ 9838、総合公園に関すること＝公園緑地課 ☎ 9842